

1 平成26年度第4回合志市教育委員会会議録（6月定例会）

2

3 1 会議期日 平成26年6月27日（金）

4 2 開議時刻 午前10時08分

5 3 会議場所 西合志庁舎2階庁議室

6 4 出席委員 委員長 高見博英 委員 野田博之 委員 坂本夏実

7 委員 田中安子 教育長 高村秀夫

8 5 欠席委員 なし

9 6 職務のために出席した者

10 教育部 上原哲也部長

11 学校教育課 上山幸顕課長 吉川良二教育審議員

12 川野松信指導主事

13 生涯学習課 花田秀樹総務施設班長 上村祐一郎主幹

14 生涯学習課 辻健一課長

15 人権啓発教育課 大寫和弘課長

16 7 説明のために出席した人 澤田修一学務指導班長

17

18

19 午前10時08分 開会

20 ○高見博英委員長

21 平成26年度第4回教育委員会議6月定例会を開会いたします。

22 会議録の署名者は、野田委員と田中委員にお願いします。

23 前回の会議録の承認でございますが、1カ所、訂正をお願いします。

24 日程1、教育長報告。

25

26 ○高村秀夫教育長

27 5月20日解放子ども会・人権教育子ども会学習会開講式

28 5月21日九州都市及び全国都市教育長協議会定期総会及び研究大会

29 5月23日九州都市及び全国都市教育長協議会定期総会及び研究大会

30 5月24日天文台指導員委嘱状交付式

31 5月25日合志東小学校運動会

32 6月 1日各小学校運動会

33 5月26日熊本県市町村教育委員会連絡協議会定例会、

34 5月27日～市内10校の学校概要説明訪問

35 5月29日菊池郡市民体育祭結団式

36 5月31日上庄ほたる祭り、杉並台地区ほたる祭り

37 6月 1日文化芸術自主事業・TSUKEMEN LIVE

38 6月 3日管内教育長会議

1 6月 6日定例会本会議
2 合志市教職員転入者・新規採用者人権教育研究会
3 6月 7日各区対抗ニュースポーツ大会
4 6月 9日市校長会議
5 6月14日どろんこフェスタ in 合生
6 合志小学校5年生どろんこフェスタ
7 6月16日合志市中学校生徒指導部会
8 6月21日交通安全子ども自転車大津地区大会
9 合志市退職校長会総会
10 6月26日西合志東小学校総合訪問
11 6月27日教育委員会制度改革説明会
12 以上です。

13
14 ○高見博英委員長

15 管内教育長会議の報告をお願いします。

16
17 ○高村秀夫教育長

18 6月管内教育長会議の報告を行います。

19 まず、菊池教育事務所長のあいさつです。

20 1点目は、2015年度熊本県教員採用選考考査についてです。

21 2点目が第2次考査の配点に変更されます。

22 3点目が、英語の採用に関して、小学校のA区分と中学校の英語をいっしょ
23 にして採用するという部分です。

24 あいさつの2点目は、総合訪問についてで、教育委員会と課題を共有しながら
25 ら取り組んでいきたいということです。

26 それから、3点目が教育事務所の本年度の課題として、3点。1点目は、体
27 罰の禁止、2点目がいじめ・不登校の解消、3点目が学力向上について。特に、
28 この3点について教育事務所も指導に力を入れていくということでした。それ
29 から、菊池郡市では、授業マイスターに小学校の道徳の安武先生が認定された
30 ということです。それから普及活動委嘱者として、中学校の音楽の青木先生が
31 認定されたという報告がありましたのでお知らせしておきます。

32 続いて、管理主事の関係です。事故防止及び不祥事防止ということです。学
33 校訪問の中でも指導がっております。県外で校長先生が覚せい剤を所持した
34 疑いで逮捕されるという、このような覚せい剤の広がり心配されるところで
35 す。

36 指導関係です。1点目は、全国学力・学習状況調査で熊本県教委の方針が出
37 ているところです。合志市も26年度全国学力・学習状況調査が実施して、そ

1 の結果を待っているところですけども、この結果については、教育委員会とし
2 ては学校名を明らかにした公表はしないと決定をしております。

3 生徒指導関係で、資料に新聞記事を載せています。和水町の中3の自殺に関
4 する第三者委員会の報告書が出たということです。

5 以上、教育長会報告を終わります。

6
7 ○高見博英委員長

8 何かご質問はないですか。

9 田中委員。

10

11 ○田中安子委員

12 お尋ねします。今の教育長会議報告の学力向上の中1ギャップの件ですね、
13 学校訪問をしましたときに、小学校で結構学力が高くなっているけれども、中
14 学校の学力の状況を見ますと、それに対して低いと思いましたが、そのこと
15 はどのようにお考えかをお尋ねをしたいと思います。

16

17 ○高見博英委員長

18 今の件で、教育長。

19

20 ○高村秀夫教育長

21 基本的な学習については小学校できちんと指導して伸びてきていると思っ
22 ております。やっぱり1つは、中1ギャップといわれるように、小学校から中
23 学校に上がった段階でなじめないとか、中学校の勉強について行けないとか、
24 いろんな部分があるんじゃないかというのはあります。そこのスムーズな連携
25 ができるように、私たち教育委員会としても考えていく必要があると思ってい
26 るところです。なかなか毎時間の基本的な学習が定着してきてない状況がある
27 のかもしれません。すみません、私のはっきりした要因は掴めておりません。

28 それから、NRT（全国標準学力検査）については、実施時期が違うという
29 ことだけお話ししておきたいと思います。ここは単純には比較はできないと思
30 っています。そこでの標準学力、偏差値の違いも多少はあるかもしれませんが
31 ども、中学校の学習状況を私たちもしっかり考えていきたいと思っております。

32

33 ○高見博英委員長

34 1つは、小学校は学級担任制で全ての教科を受け持って、中学校の場合は教
35 科担任ということで、子どもたちがその教科担任に対しての意識というか、教
36 科ごと代わるからというところもあるでしょうし、小学校の場合にはどっちか
37 という本当に基本的なところが多いけれども、中学校になると内容が専門性
38 というか、ある程度高い部面もありますので理解ができない子どもたちもやや

1 多くなってきた、その結果として中1ギャップが出ている等があると思うんで
2 すね。その制度にも1つは課題があるように私は思います。

3

4 ○吉川良二教育審議員

5 私たちも、ここはどこに課題があるのかというのを以前から追求しながら、
6 これは中学校だけの責任ではないと思っています。

7 まず、教育システムの違いですね、学級担任制から教科担任制に変わるとい
8 うことで、小学校から中学校に上がった子どもたちがなかなか教科担任との関
9 係づくりというのがうまくいってないというところも1つあるかなと思いま
10 す。それから、学びのスピードの違いですね。中学校の場合は受験というのが
11 ありますので、それに合わせてやっています。だから小学校の場合は繰り返し
12 し繰り返しというのができて中学校ではそこはできないというのがシステ
13 ムの違い。

14 もう1つは、小学校の段階で本当に身につけておかなければならなかった
15 基礎・基本をどれだけ習得できていたのかという課題と、同時に自主学習とい
16 うんですかね、例えば家庭学習にしてもそうですし、いろんな主体的な学び、
17 その基礎づくりがまだ小学校で十分できていなかったというところがあって、
18 本来、それができて中学校に上がっていれば中学校の学びのスピードにも予習
19 復習についていけたんでしょうけども、そういったところが大きいのかなと。
20 そこを埋めていくのが、この小中連携ではないかなというふうに考えています。
21 合志市としても今からこの小中連携の強化ということをこれから進めていき
22 たいというふうに思っています。

23 以上です。

24

25 ○高見博英委員長

26 よろしいでしょうか。

27 ほかに何かご質問ないですか。

28 野田委員。

29

30 ○野田博之委員

31 教育長の報告の中で合志市内の特別支援教育連絡協議会の総会ということ
32 で、その総会に当たって、この対象になる方々と、またこの協議会が連絡だけ
33 の協議会なのか、あるいは、その総会での課題等が出されておりましたらご紹
34 介ください。

35

36 ○高見博英委員長

37 今の件で、何かわかる範囲の中でお願いいたします。

38 教育長。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38

○高村秀夫教育長

合志市特別支援教育連絡協議会は、合志市における特別支援教育の一番基になっています。構成委員は、教育長が会長、中学校ごとにブロックをつくっておりますので、そのブロックごとの代表の校長先生、それから代表の特別支援教育のコーディネーター。支援学校のほうから、菊池支援学校の校長先生及びコーディネーター。市内の幼稚園長の代表、保育園の代表、福祉課長も連携をしているという組織で、その代表の方が集まって実施要項の下に会議を開いております。また、中学校区ブロックごとに研修会、協議会が行われています。課題については、1年間の取り組み状況等の報告をしていただいたということで、さらに連携を進めていくことの必要性がありました。特に、1つ覚えているのは幼稚園保育園児ですね、その中で、特別支援が必要な子どもたちも随分と増加をしてきております。そこに対する対応をどうするかということも大きな課題じゃなかったかなというふうに思っています。合志市としては幼稚園、保育園からずっとつながりをもって、小学校、中学校、さらに地域の支援学校も含めたこの大きな協議会の中で子どもの育ちを見ていくということでは、私は成果を上げてきていると思っております。

以上です。

○高見博英委員長

ほかにございませんか。

はい、坂本委員。

○坂本夏実委員

1つ戻ってしまいましたが、私も中1ギャップには疑問を持っておりました。そこで、委員長、審議員のお話を聞いて、もちろん納得というところで私もそう思うのですが、1つ、子どもたちを近くで見えてきて、またはいろいろな場面で保護者の話を聞いてきて私が思うところでは、理由の1つとしてですね、先ほどの話に加えまして、児童から生徒に変わる中学校に入った途端に子どもが思春期に入ります。もちろん差はありますけども、そこで教科ごとのシステムの違いに入っていくところで自分の中で好きだ嫌いだというところを、そこに理由を持って行って、もちろん中学校のほうでも手厚い授業内容をしていただいております。ただ、そこで子どもたちが自分でやらないんだ、いやなんだ、嫌いなんだというのをまたこれを保護者のほうもそうなんだというところで、全員ではないですが、もちろん、そこで一旦ガクッと下がって、先ほど審議員がおっしゃったように、受験がございますので、そこでまた子どもたちがこれはいけないということでちょっとずつまた上がっていくというところも要因の1つではないのかな。子どもに理由がとてもあるなと思いました。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38

○高見博英委員長
はい、教育長。

○高村秀夫教育長

難しい問題ですけども、合志市の子どもたち、小学校を見ていただきますと、本当に学習状況とか学力の基本的な部分はしっかり持っている。能力は大変高いものがあると思っていますよね。やっぱり授業で変えていかざるを得ない状況ですので、その授業の質を上げることが一番じゃないかなと思っています。

そこで、学校と例えば塾の関係をですね、お互いに連携も必要じゃないかなと。塾で勉強することも当然大事ですけども、学校では塾で勉強できないようなこともちゃんとやっていく、教育をやっていくということも大事じゃないかなと思っています。全て中学校だから制度上、下がるという観点だけじゃなくて、合志市の教育の課題として、中1ギャップの課題としてはしっかり反省をして、授業の質を高めていくように学校とも連携をしながら指導をしていく必要があると思います。

○高見博英委員長

今教育長がおっしゃったように、県との比較の中でもマイナスになっているということは、やはり合志市の教育自体の中にも1つの課題があるというような見方もできるということでございました。

ほかに何かございませんか。

次の日程2

報告事項(1)合志市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について、説明をお願いいたします。

上山課長。

○上山幸顕学校教育課長

合志市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正です。これにつきましては、私立幼稚園に就学されております幼児の保護者に対しての就園奨励費の補助金の交付するということです。

今回の改正につきましては、別表等の内容、主に補助限度額の変更ということです。

これにつきましては、施行日を公布の日から施行し、平成26年4月1日から適用するということで考えておるところでございます。

説明につきましては、以上です。

1 ○高見博英委員長

2 何かご質問はないですか。

3 今説明があったとおりでの運用をお願いいたします。

4 平成26年度合志市奨学生の選考結果について、お願いいたします。

5 はい、上山課長。

6
7 ○上山幸顕学校教育課長

8 平成26年度合志市奨学生の選考結果につきまして、ご説明をいたします。

9 今回、6月3日に選考委員会を開きまして、新規申請9名の方、それから継続
10 申請15名の方、それぞれについて各世帯の所得要件等と、あと民生委員さん
11 の意見、それから関係中学校長の意見を賜りまして、選考をしたところです。
12 新規申請9名と継続申請15名、全員、承認したところです。それから、別紙
13 で奨学資金の貸付け状況と、償還状況を配付させていただいております。25
14 年度の現年度並びに過年度の調定額、それから償還額等、それから未償還額等
15 を載せております。収納率におきましては、現年度で79.7%、過年度で1
16 4.3%ということです。まだ未償還のほうもありますので、再度対象者の方
17 に連絡等をして徴収に努めていきたいと考えておるところです。

18 以上です。

19

20 ○高見博英委員長

21 はい、合計24名が承認を受けたということでございますが、今の件で何か
22 ご質問ないですか。

23 田中委員。

24

25 ○田中安子委員

26 以前にもこの奨学金の償還状況があまり良くないという報告を受けました
27 けども、返さなくてもいい奨学金についてのお考えはないわけですか。

28

29 ○高見博英委員長

30 貸与でなくて給付という考えはないかということですが。

31 課長。

32

33 ○上山幸顕学校教育課長

34 現時点では貸付けということで考えております。今後、国の動きなどを見な
35 がら、状況等が検討されておるとも聞いておりますので、そういった内容が決
36 定して市町村の奨学金についても協議等が行われましたら、検討していきたい
37 と考えております。

38 以上です。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38

○高見博英委員長

今の、国の措置の中では奨学金の給与とといいますか、支給というのが国会等での法案を通っているんですか、まだ今審議中ということですかね。

ということで、その決定によっては市町村においても給付するような方向も考えなければならなくなるかなというところです。

ほかにございませんか。

滞納についても、督促よろしく願いしておきたいと思います。

それでは、次、第3の合志市フッ化物洗口準備委員会設置要綱について、説明をお願いいたします。

上山課長。

○上山幸頭学校教育課長

合志市フッ化物洗口準備委員会設置要綱ということですよ。平成27年の4月からの実施に向けた検討を進めるということで、本6月議会に準備委員会の費用等を計上させていただきました。議会のほうは承認がされましたので、今後準備委員会等を設置して検討を行っていきたいと考えております。

今後、4回程度会議を行っていきますので、委員会の内容につきまして、担当の澤田のほうから説明をさせます。

○高見博英委員長

具体的な説明をお願いいたします。

○澤田修一学務指導班長

まず、（設置）ということで、第1条に掲げております。

（所掌事務）ということで、第2条 委員会は前条の目的と達成するため、次に掲げる事項について協議する。

第3条（組織）ということで、委員会は委員32名以内をもって組織する。

第4条 委員に任期は、1年とする。2補充による委員の任期は、前任者の残任期間とする。にしております。

次、第5条（会長及び副会長）です。委員会に会長及び副会長1名を置く。

第6条（会議）委員会は、会長が招集し、議長となる。

第7条（守秘義務）委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

第8条（庶務）委員会の庶務は、教育部学校教育課が行うとしております。

附則として、この要綱は、平成26年7月1日から施行するとしております。

この、32名にさせていただきましたけども、これにつきましては、庶務に関して教育部の学校教育課が行うというふうにしておりました関係で、14の

1 ですね、学校教育課が1でしておりました関係で、ちょっとその訂正をし忘れ
2 ておりました。

3 以上で、要綱の説明は終わります。

4

5 ○高見博英委員長

6 はい、今要綱の説明がありましたけれども、何かご質問はないでしょうか。
7 田中委員。

8

9 ○田中安子委員

10 2つお尋ねします。この安全性。これについて、今後も協議をするというこ
11 とありますが、例えばアレルギーの子どもさんなどの場合の、その安全性とい
12 うことについてお尋ねします。

13 もう1つは、子どもたちの虫歯の数ですね、合志市は平均0.26かなんか
14 だったと思いますが、他の市町村に比べて、その数はどうなんでしょうか。お
15 尋ねします。

16

17 ○高見博英委員長

18 今のフッ化洗口物の安全性と本市の虫歯所有者の平均と、その現状をお願い
19 します。

20

21 ○上山幸頭学校教育課長

22 まず安全性ですが、フッ化物洗口で使いますフッ素というのは自然界に存在
23 するというので、皆さんが食事や飲み水等で、普段口に行っているというよう
24 な状況です。歯磨粉のほうにもフッ化物が混ぜられた歯磨粉を使っているとい
25 った状況でこれまで問題等が起こったかという部分では、佐賀県ではもう10
26 年間、新潟県のほうではもう40年行われておりました、そういった問題は起
27 こってないと。それと、アレルギーに対しても問題が起こったという事例は発
28 生してないと報告を受けています。

29 それから、虫歯の本数については、平均的に合志市0.28本から6本だっ
30 たかと思います。玉東町のほうがそれより少なく0.2から1の間だったと
31 思います。それ以外の市町村ではフッ化物洗口等進めておりました、虫歯の率
32 が少なくなってきました。熊本県内において、この虫歯の率は、合志市は
33 半分よりいいほうになっています。ただこの統計数字が、ここに資料を持って
34 いませんけど、報告の数においては0.25本なんですけども、昨日西合志東
35 小に行って虫歯の状況という部分が経営の中に書いてあったので見ますと、5
36 3%が虫歯というような報告も上がっていましたので、どの数字がどこまで信
37 憑性があるのかなというのが、私今、ちょっと数が少ないという統計上の数字
38 はありますが、実際の虫歯という部分では、そういった53%の虫歯があると

1 市長じゃなくて教育長なのかなと私もと思いますが、その変更は可能でしょう
2 か。

3

4 ○澤田修一学務指導班長

5 はい、第3条のところですけども、市長じゃなくて教育長になれば、この中
6 には教育長が入るのはどうなりますかね。学校等の打ち合わせの中で教育長も
7 入ってほしいというようなご意見がありましたので、メンバー構成としている
8 ところなんですけども。いいですか。

9 はい、分かりました。じゃあ、この部分につきましては、教育長が任命しと
10 いうことで変更したいと思います

11

12 ○高見博英委員長

13 今の件で、ほかの委員さん方、よろしいでしょうか。

14 では、今の設置要綱については、市長のところを教育長に訂正をお願いいた
15 します。

16 ほかに、今の件でご質問ないですか。

17 はい、上山課長。

18

19 ○上山幸頭学校教育課長

20 はい、すみません。今の第3条のですね、委員のそれぞれの方を第3条のほ
21 うに載せておりますけど、教育委員会部局のほうですね、教育長以下、教育部
22 長、それから教育部指導主事、学校教育課ということで載せております。この
23 辺につきましては、ちょっと内部の最終的な詰めもちょっと甘かった点があり
24 ますので、指導主事、審議員等、そういったところの方にも参加していただく
25 かという部分もありますので、審議員、指導主事の部分については、再度うち
26 のほうで検討させていただいて、委員と、加えるか加えないかという部分をち
27 よっと検討させていただくならばと思います。

28

29 ○高見博英委員長

30 はい、今のよう、少しまた追加が可能になるかもしれませんが。

31 今の件で、上原部長、いかがでしょうか。

32

33 ○上原哲也教育部長

34 私としては、学校に詳しい職員として、審議員あたりに入っていたいただい
35 うがいいのかなとは思っています。

36

37 ○高見博英委員長

1 この原案作成の過程の中では、主に学校教育課内での検討で提示されている
2 わけですね。少し下の検討というのがあっておりますか。

3
4 ○澤田修一学務指導班長

5 すみません、この学校教育課内での検討といいますか、一応学校と、学校の
6 養護部会の先生から、このフッ化物洗口に関して、実施についての心配、いろ
7 んな面がありました関係で、養護の先生たちと学校教育課のほうと会議を持ち
8 まして、それと健康づくり推進課も一緒に入って、どのような委員構成にする
9 かというような話をしまして、その中で、養護の先生からもぜひ入れてほしい
10 ということがありました。

11
12 ○高見博英委員長

13 はい、教育長。

14
15 ○高村秀夫教育長

16 今、指摘しているのはそうじゃなくて、これを出してくるときに部内できち
17 んと検討したかという問題なので、もう少し丁寧に内部検討をした上で提案し
18 ないと、ここでこっちから変更をすとかいうこと、出すこと自体大体おかし
19 いことだから、そのあたりもう少し今後とも気を付けていただきたいなと思
20 います。

21
22 ○高見博英委員長

23 それでは、今の人数関係のところがありますが、今教育長がおっしゃったこ
24 とで、追加をお願いします。

25
26 ○高村秀夫教育長

27 基本的なところは承認いただいて、内部については少し変更がある部分は了
28 解をしていただきたいなと思います。

29
30 ○高見博英委員長

31 最終的に決定したものについて、次回にもう1回はっきり提示してもらおうこ
32 とでお願いしたいと思います。検討事項ということで今日は終わっておきます
33 ので、よろしくをお願いします。

34 7月の行事予定について、説明をお願いします。

35 はい、吉川審議員。

36
37 ○吉川良二教育審議員

38 7月行事について、よろしくをお願いします。

1 7月1日、教育長就任式、人権フェスティバル実行委員会
2 2日、教育委員会幹部会議
3 4日、県教育事務所関係管内教育長会議
4 全国市町村教育委員会連合会理事会東京
5 7日、市校長会議、
6 8日、市の教務主任会議、県教育事務所関係管内校長会議
7 10日、竹迫観音祭り
8 11日、適応指導員連絡会議。市生徒指導連絡会議、中学校部会、
9 市人推協学校教育部会担当者会
10 12日、こうしこども塾
11 14日、市英語担当者会。
12 15日、庁議。熊本版コミュニティスクール地区別推進シンポジウム
13 16日、高齢者教養講座・ことぶき大学合同研修会。
14 17日、市教頭会議。
15 18日、合志市内小・中学校1学期終業式
16 市青少年育成市民会議パトロール
17 23日、市人推協学校教育部会現地学習会。
18 24日、学校教育部会共通教材検討委員会。
19 25日、人推協学校教育部会全員研修会
20 全国市町村教育委員会連合会事務局長会議倉敷市
21 26日、市人権教育研究大会。
22 29日、21世紀を拓く熊本教育推進会議
23 30日、市童話発表会
24 31日、教育委員会主催教育講演会及び特別支援教育研修会
25 以上でございます。

26
27 ○高見博英委員長

28 7月の定例教育委員会議は、21日以前に開催したいと思います。

29
30 ○吉川良二教育審議員

31 21日以前であれば、17日の午前中、いかがですか。

32
33 ○高見博英委員長

34 17日の午前中、学習会もありますので9時から、定例会は10時。

35 7月の行事予定については、以上で終わりたいと思います。

36 その他の件について、説明をお願いします。

37 まず、6月の議会報告について、簡単に説明をお願いします。

38 上原部長。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38

○上原哲也教育部長

6月18日から23日までの4日間、教育委員会関係の答弁を行いました議員の方については、7名の方に対して説明をしているところです。また、教育環境の整備について、市長所信表明に関する一般質問の中でも学校関係、教育委員会関係への質問がなされておりますので、そこは政策部、市長のほうで説明をされている部分もありますので、そこも若干触れて説明をさせていただきたいと思います。

それでは、議会報告の資料の6月18日ですね、青木照美議員から、教育委員会関係のみご説明をさせていただきます。

青木照美議員につきましては、トレーニングルームの運用について、60歳以上の利用料金について、弾力ある料金体系にできないかということで、提案がなされたところです。60歳以上の市民の方の利用が全体の約5割程度と説明をしているところです。トレーニングジムを運用するに当たってはインストラクター4名を採用しておりますし、または機材の維持管理もあります。利用者の、受益者負担も考慮する必要があると説明しております。

次に、濱口正暁議員の質問です。小中学校、公共施設のトイレについてということで、学校としてどう捉えているかというような内容で、洋式化してくださいというような内容でした。学校については、大規模改修あたりで洋式化をやっているの、公共施設についてはいろいろな人が使うということで、そういった面も考慮しながら整備を進めていきますと説明しております。

次に、今村直登議員ですが、これは集団的自衛権についてでした。教育委員長に、どう考えているということでは、このような日本国憲法を順守しなければならないというような答弁をいただいているところです。市長については、憲法解釈が難しいのであれば、憲法の改正をすべきであるという答弁をいただいております。

神田公司議員の質問ですが、教育委員会の児童生徒数の推計現状ということで、内容についてはほぼ見込みどおりの数値で現在実施していると説明しております。

大規模化に関する教職員の労働実態の認識ということでは、ノ一部活デー、平日の休みと土日のいずれかを1日活動しない日ということで取り組んでいますということで、4月、5月の実態からは半減しているということで説明しています。それから、フッ化物洗口についての協議と現状では、27年度から集団実施を考えていますと、安全性につきましても、厚労省からガイドラインが出ているということから、さまざまな内容については説明しているところでございます。

次に、坂本早苗議員ですが、非常勤職員の待遇改善ということで説明され、学校図書司書の報酬が改善されてないとの説明でしたので、ここは総務課のほ

1 うできちんとした説明を受けているところでございます。また、学童保育につ
2 いても、合志南小学校の学童クラブをどうするんだというような内容でしたけ
3 ども、これについても、関係部局、子育て支援課、生涯学習課、それと学校教
4 育課で協議しながら各校に学童クラブの部屋の確保には努めていきたいと答
5 弁をしております。それから、学校での集団フッ化物洗口することについてと
6 いうことでは、神田議員とダブるところがありますので、内容については安全
7 性の問題、そういったのを含めて説明をしているところです。

8 次に、尾方洋直議員については、学校の防災について質問がっております。
9 25年度は、全校で実施していますと答弁しているところです。また、義務教
10 育改善につきましては、虐待問題ということで質問がっております。熊本県
11 のDV対策関係機関会議についてということで、こういったのも質問があつて
12 ございました。それから、いじめ・不登校実態等対応はということでは、個々の
13 アンケート調査の結果についてはいろいろありますが、それぞれの学校の取り
14 組みによって、いずれも解消しているということで説明をしているところです。
15 それから、小中学校のいじめ対策ということでも、いずれも解消しているとい
16 うことで説明をしております。また、不登校問題についてのご質問があつてお
17 ります。年間30日以上欠席があった場合は不登校と取り扱っていますと。
18 それぞれの学校ではいろんな原因とか要因を詰めながら対応していると説明
19 をしているところです。また、生徒に対しての生活指導ということでも質問が
20 ありましたけれども、中学生の深夜徘徊や喫煙等の問題行動があるというよう
21 なことがあります。こういった部分についても、学校の先生、学校、それと
22 地域の子どもは地域で育てるという意識から対処していただければありがた
23 いということで、学校、地域、市と連携しての取り組みをやっているとい
24 うことで説明しているところです。

25 次の木村祐一議員の防災についての中での御代志市民センターの建て替え
26 についてということで質問がありました。まだ、建て替えの計画はありません
27 ということで、しかしながら施設の整備については耐震化を第一に、財源確保
28 も併せて計画的に整備を進めていきたいと答弁をしております。

29 次に、市長の所信表明から2つ、2人の議員から質問があつていまして、教
30 育環境の整備について説明が求められて。今回は土地利用計画でいろいろな業
31 務委託が計画されて補正予算が組まれております。そういった中で区画整理あ
32 たり、そういったものも含めたところでの教育環境の整備も努めていきますと
33 いうようなことで所信表明がなされておりますので、そのことについての質問
34 ございました。今後、分離新設の考えについてということについては、今か
35 ら委託をする中でのマネージメント業務委託あたりもする中での土地利用に
36 基づいて検証を行い、今後2年をめどにその方向性を示したいということで答
37 弁がっております。また、学校給食の方向性についても、新聞にも載ってお
38 りましたとおり、7月には市の庁議あたりで諮っていただいて、9月にはある

1 程度の方向性を出したいというふうなことでは答弁をしているところでござ
2 います。

3 以上、一般質問に関する内容についてご説明をさせていただきました。よろ
4 しくお願いいたします。

5
6 ○高見博英委員長

7 質問などありましたら次回にお願いいたしたいと思います。それでは、ほか
8 にその他でございませんか。

9
10 ○川野松信指導主事

11 保育体験研修の報告です。6月13日に市の初任者の先生方を対象に、保育
12 体験研修を行いました。本年度は6園に快く受け入れをしていただいて、大変
13 充実した研修を行ったところです。それぞれの先生方が学んだこと等につい
14 ては報告書の中に記載がされておりますので、ご一読をお願いできたらというふ
15 うに思っております。

16 以上です。

17
18 ○高見博英委員長

19 ほかにその他でございませんか。

20 今回は特別支援教育についての学習となっております。資料を準備してござ
21 いますので、概略の説明をお願いして、そして本市の現状、あるいは課題等
22 について意見を出し合いたいと思いますので、よろしく申し上げます。

23 川野指導主事、説明をお願いします。

24
25 ○川野松信指導主事

26 平成19年度に出されましたガイドブックより抜粋をしております。それま
27 での特殊教育から特別支援教育に変わったところでの大きな変更点等を示し
28 ています。

29 特別支援教育については、支援計画や指導計画を作成して計画的に進めると
30 ころが大切になってまいりますので、記載事項については、各学校でしっかり
31 把握をされた上で進めているところです。

32 援助制度というところで就学奨励費補助金等の支給、それから各種の手帳の
33 内容を示してあります。

34 合志市においても学級数、それから児童生徒数増えておりますので、委員会
35 としてもそのあたりの対応については適切に行う必要があるというふうに考
36 えております。

1 それから、これまで障がいというところで名前を付けられていた部分が、例
2 えば学習障がいでは学習症というような形に変更がされるというところの新
3 聞記事が出ておりましたので載せております。

4 市の特別支援教育について資料をつけております。合志市においては、特に
5 特別支援教育連携協議会という組織を中心に進めているところです。この下部
6 組織の中にそれぞれの中学校ブロックごとの連携協議会というものを設けて、
7 その中で具体的に小中連携を図りながら進めているところです。

8 最後に合志市の特別支援教育ということで保護者向けに配布しております
9 パンフレットをつけております。この中に、保護者が読まれて大方理解ができ
10 るような中身で示しているところです。

11 簡単ですが、以上です。

12
13 ○高見博英委員長

14 はい、今説明がありました、主なところについて意見を出していただいて
15 まとめたいと思いますので、田中委員。

16
17 ○田中安子委員

18 障がいのある子どもたちも、差別なく教育を受ける権利がある。そのために
19 合理的な配慮をすることが必要だということだと思います。それで、合志市で
20 は人的な合理的配慮、教育活動支援員、介護支援員ということですが、
21 が、今からもいろいろ考えていかなければいけないと思います。

22 以上です。

23
24 ○高見博英委員長

25 合理的な配慮というのは、具体的にどういうことであるかと、ちょっと簡単
26 に説明をお願いします。

27
28 ○川野松信指導主事

29 合理的配慮には、3つの観点があり、教育内容・方法、2つ目が支援体制、
30 3つ目が施設・設備の観点から配慮を行うというところです。具体的には、弱
31 視の子には黒板の文字が見えやすいように座席を前のほうに異動をすとか、
32 L D E で読み書きが困難な子どもについては拡大したプリントを使うとか、そ
33 ういったことの配慮をしておるところです。市としましては、支援体制の部分
34 については教育活動指導員、あるいは介護補助員あたりの配置をしております。
35 それから、施設・設備等につきましても特別支援学級には、本年度タブレット
36 型パソコンを導入するというようなところを実施しているところです。

37
38 ○高見博英委員長

1 一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を実現するために、その子に応じた
2 ことをできるだけ可能な限りやっていくということが合理的な配慮というこ
3 とのようですが。

4 野田委員。

5

6 ○野田博之委員

7 特別支援教育について、2点ほど申し上げます。

8 1点目の社会への自立ということですが、このカリキュラムにのっ
9 っつて、あるいは今回の一人ひとりの教育ニーズに応じた対応というところ
10 十分にいかしてもらいたいというのが1点です。

11 2点目は障がいを持つ子どもたちの人権という面から1つ。特に、この教育
12 課程への特別教育課程への編成につきましては、本人、保護者の状態を考慮し
13 ながら、学校として創意工夫で編成するとなっております。将来的な自立を妨
14 げるといふ部分があるとはならないということです。それを考えまして、特に
15 特別教室に通う子どもたちが普通学級の子どもたちから見て異質の存在に見
16 られてはいないだろうかということです。それによって、偏見で見られていじ
17 めや差別が生じてはいないだろうかということにつきましては、十分学校とし
18 てもその特別教室に通う子どもたちがどういう子どもたちであるかというこ
19 とを保護者のみならず、子どもたちに十分説明がなされなければならないと思
20 います。

21 以上です。

22

23 ○高見博英委員長

24 特別支援学級に在籍する子どもたちへの配慮というような面が幾つかあり、
25 1つ目に、教育課程の問題というのがありますので、配慮すべきようなこと、
26 あるいは先だつての学校訪問に見られるような特別支援学級での授業の形態
27 とか、そういうことでの課題が1つあると思います。

28 それともう1つは、人権的な立場で課題として見られるか。この2点をこの
29 あと出したいと思いますので、まず教育課程について、説明のほう、本市の場
30 合、あるいは全体的なところで問題だということがありましたらお願いいた
31 します。

32

33 ○吉川良二教育審議員

34 教育課程の編成につきましては、大別をするならば、知的障がいのある児童
35 生徒、それから知的障がいがない児童生徒、それによって大きく編成が変わり
36 ます。そのことを十分に踏まえた上で、その子の力を最大限に伸ばすための教
37 科指導はどうか、あるいは幾つかの教科を合わせた学科指導はどうか
38 のか、自立活動はどうか、それを、総時数の中から必要な時数を算出し、

1 教育課程を編成するということになります。ここで、問題になるのは、自立活
2 動であったり生活単元であったりですね、それが本当にその子の将来の自立に
3 向けた今必要な指導になっているかどうかですね、ここら辺をしっかりと吟味し
4 ていく必要があるのではないかと考えています。

5
6 ○高見博英委員長

7 人権的な配慮という面から、保護者の人権感覚といいますか、そういうこと
8 とも関係しますので、坂本委員、何かございませんでしょうか。

9
10 ○坂本夏実委員

11 特に小学校低学年においては、グレーゾーンと呼ばれている子どもたちが年
12 々増えていると思います。人権にかかわるようなところで保護者と先生方のと
13 ころで問題は生じてないのかなとちょっと心配するところです。

14
15 ○高見博英委員長

16 保護者、それから教師との人間関係、信頼関係というのが、今教員に大事な
17 ところがあると思いますね。それから、各学校では、小学校、中学校、高校と
18 特別支援学級に在籍している子どもについては、それらの長期的な計画をちゃ
19 んと立ててやっているわけなんですけど、やっぱり課題として残るのは、そのあ
20 との就労に至るときの課題が1つあると思うんですね。今後の特別支援教育の
21 あり方といいますか、そういう面で教育長のほうで何かお考えがあったら願
22 いいたします。

23
24 ○高村秀夫教育長

25 特別支援教育の必要性が言われているわけですが。私が大変ありがたいなと
26 思っているのは、特別支援教育に関係する子どもだけの問題かといったらそう
27 じゃなくて、全ての子どもたちの教育に視点を当てているということを考えて
28 いいと思います。ユニバーサルデザインと言われるけども、特別支援が必要な
29 子どもに対する手当ても必要だけど、そのことが全ての子どもたちの教育に
30 もプラスになるという観点で考えていけば、特別支援教育は非常に有意義なも
31 のがあると思っています。

32 それから、親の思いというところでいきますと、やっぱり発達の程度によっ
33 てしっかりした教育を受けさせていきたいというのが今の保護者の考えでも
34 あるわけです。そのように今特別支援教育だから周りから偏見があるとか差別
35 があるとかいうことではなくて、やっぱり発達の段階に応じて適切な教育をし
36 ていくという観点からすれば、やっぱりみんなが理解をしながら教育を進めて
37 いくということが大事じゃないかなと思っていますので、そういう部分じゃ

1 どの子どもたちにも特別支援教育の視点というのは必要じゃないかなと思っ
2 ておるし、それを理解していくということが大事だと思っています。

3 それから、先ほど野田委員からもありましたように、自立をどうさせていく
4 か、その方向性もきちんと捉えた上で小学校、中学校における特別支援教育を
5 進めていきたいと思っています。

6

7 ○高見博英委員長

8 そのようなところで今後、本市の特別支援教育についても取り組んでいき
9 たいと思います。

10 それでは、次回の学習は、教育委員会制度が今度変わってきていますので、
11 それについての学習をしたいと思います。

12 それでは以上をもちまして、平成26年度第4回教育委員会議6月定例会を
13 閉じます。

14

15

午後0時02分 閉会